

“京田辺市の未来”について考えよう

● ワークショップの目的

現在、京田辺市では、市の最上位計画として「第4次京田辺市総合計画」の策定に取組んでいます。

このワークショップは、将来、まちづくりの中核を担う高校生や大学生のみなさんより、「住み続けたい！一度外に出てもまた戻ってきたい！と思える京田辺市とは？」について意見をお聞きし、総合計画の策定に生かしていくことを目的としています。

ぜひ、柔軟な発想で未来の京田辺市について考えてみましょう。

● 宿題のお題

「住み続けたい！戻ってきたい！と思える京田辺市に必要なこと」

【宿題としてこんなことを考えてきてね！】

- 京田辺市のイイところ。ここをこんな風に伸ばしていこう！！
- 京田辺市の楽しさ。ここをさらに楽しむためにこんな風にしてみては？
- 京田辺の残念なところ。ここをこう改善したら住みやすいまちになる！！



※現在、情報通信技術（ＩＣＴ）が進展しており、近い将来、自動運転や遠隔口ボット操作、人工知能（ＡＩ）の活用などにより、私たちの暮らしが大きく変わることが予想されています。このような最新技術の活用も含めて、京田辺市の将来のまちについて提案してください！！

● タイムスケジュール

9：00～	1. 開会・事務局からあいさつ 総合計画とは・・・
9：10～	2. まちづくりに対する思い（市長）
9：20～	3. 本日のワークショップの進め方
9：25～	4. ワークショップ ～「住み続けたい！戻ってきたい！と思える京田辺市に必要なこと」～
11：00	5. 閉会

※ワークショップ中に市長が皆さんの各テーブルに入って直接意見交換します。

● ワークショップの進め方

1. 役割分担を決めよう 9:25~(5分)

リーダー（進行役、1人）、フォロワー（リーダーのフォロー、1人）、書記（付箋や模造紙への書き込み、1~2人）、発表者（1~2人）を決めてください。

2. 意見を共有・共感しよう 9:30~(10分)

- 宿題で書いた「住み続けたい！戻ってきたい！と思える京田辺市に必要なこと」について、自己紹介（学校とお名前と好きなことや趣味等）を交えながら発表し、模造紙に貼っていきましょう。（各自2分×5人=10分）

みなさんはじめまして。○○高校（大学）の△△です。
マイブームは○○。
京田辺市の好きなところは△△です。
△△が好きな人が集まる場所を作るといいと思います。



3. 意見を発展させよう 9:40~(50分)

- 出された意見をグルーピングし、タイトルをつけましょう。
- グルーピングされた意見を見ながら、京田辺市が住み続けたいまちになるために必要なことは何かを付け加えていきましょう。
- 特に重要な取組みにシールを貼ってみましょう。



4. グループの意見を発表しよう 10:30~(20分)

- グループの意見を発表してください。（各5分）
- 共通する取組みや特に重要と考えた取組みとして選んだ理由などを絞って説明してみましょう。
- 各グループの発表を聞いてすばらしいと感じた取組みや共感したことを伝えあいましょう。



5. ふりかえり 10:50~

- 市長より皆さんからの提案についてすばらしいと感じた取組みや共感したことを伝えます。

● 付箋の書き方

- 京田辺市のイイところや楽しいところについての意見は水色の付箋、残念なところについての意見はピンク色の付箋に意見を記載します。（1意見、1枚）
- 意見交換をするときに誰の意見かわかるよう右下に自分の名前を書きます。
- 意見交換の時や発表の時にみなさんに見えるよう付箋はサインペンやマジックなどできる限り大きく、見やすいように書いてください。
- 一人5枚まで意見を書いて用意してください。（付箋は水色5枚、ピンク色5枚をお渡ししています。イイところ（水色）だけ5枚、残念なところ（ピンク色）だけで5枚書いてもらっても構いません。）

＜書き方の例＞

